

## モハメッド・イナヤス研究員（モルディブ）



はじめまして。私はモルディブから来ましたモハメッド・イナヤスと申します。自国では、モルディブにおいて防災分野の主たる機関である国家防災センターというところで働いています。また、私はモルディブ国防軍にも所属しています。国家防災センターでは、主に災害などの緊急時における救援等の初期対応を行っています。また災害への予防として、早期警報システムの普及や、各島嶼地域における職員の初期行動に係る人材育成なども含まれています。

私個人としては、2014年から2015年の間、兵庫行動枠組みの実行に係る防災業務の担当をしていました。また、2004年のスマトラ島沖地震直後においては、実際に救援活動にも加わりました。さらに、国家緊急計画、応急対応手順、救援および支援に関するガイドラインの策定や普及なども担当していました。また、2年前の2014年においては、バンコクのアジア工科大学において、防災に係る修士課程を修了しました。

最後に挨拶としまして、今回客員研究員の機会を頂いたADRCの皆様には感謝を申し上げます。日本での滞在中は、研究テーマである早期警報と緊急対応メカニズムについて知見を深めたいと思います。アジア防災センターで学んだ知識や経験が、私の母国であるモルディブにおいて、災害からの被害軽減に貢献できると信じております。